

杜の風

校長 森 薫

◎ 1年生、健脚大会頑張りましたね。

- ・班活動を通して、仲間と協力して課題を解決する態度を身に付ける。
- ・体力の向上を図るとともに、最後までやり遂げる意志の強さを養い、自分の足で歩き通したという達成感を味わう。
- ・太田の歴史の体験・調査活動とする。

という3つを目的に、事前学習をしっかりと行った上での本番当日。一人のけが人や病人もなく、そして3つの目的は達成されたようですね。よく頑張りましたね。

それぞれの班で協力し合いながらもいろいろなドラマがあったようですが、この経験をぜひ来年の校外学習・再来年の修学旅行に活かしてください。

1年生もこの1年で大きく成長しましたね。皆さんも入学してすぐは、不安なことが多かったのではないかと思います。優しく・親切に新1年生に沢山のことを教えてください。あと20日で先輩と言われます。先輩としての姿を期待しています。

◎ 昨日の地震、皆さんやご家族にけがなどはなかったでしょうか？

昨日午後11時36分、長くて大きな地震が発生しましたね。寝ていたという人も、地震の揺れと家や建物が揺れる音、地面の中から聞こえてくるような音で目を覚ましたのではないのでしょうか。12月頃からしばらくの間地震が続いていましたが、ひさびさの大きな地震でとても驚きました。太田は震度4でした。(東日本大震災の時の太田は震度5強)そして地震の途中からの停電。私の住んでいる地域では約2時間停電が続いていました。明るさと電気の大切さを改めて感じました。

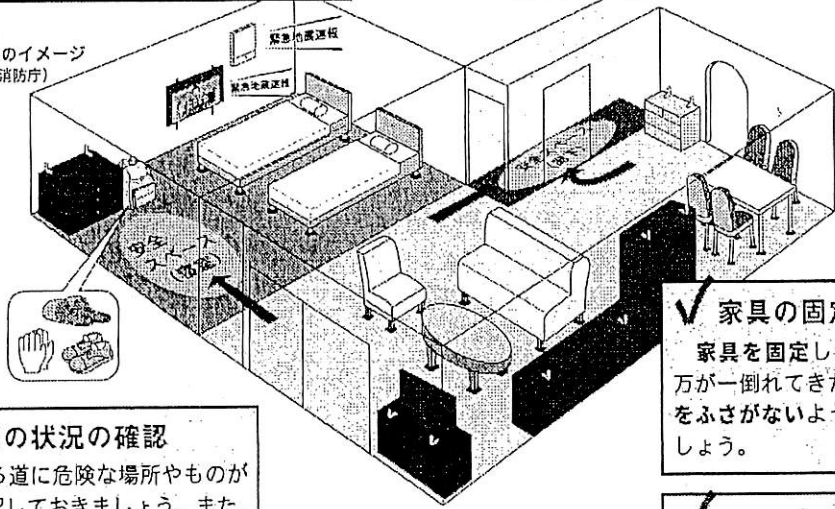
宮城県や福島県では震度6強という地域がありました。海岸沿いの市町村には津波注意報が出され、ある地域では高い所へ避難しようとする車が大渋滞だったそうです。11年前の東日本大震災の際には、気象庁から出された津波の高さの予想をはるかに超える津波が発生し、多くの方が亡くなっているため急いで避難したのだと思います。今回、幸いにも津波の被害はありませんでしたが、午前11時現在4名の方が亡くなっています。どうすれば、何があれば自分や家族の命を守れるのか、どうやれば生き延びられるのかを考え、今のうちにその準備をしましょう。

気象庁 | 地震から身を守るために

✓ 備蓄・非常持ち出し品の準備
 非常時の水・食料の備蓄や、非常用持ち出し品を準備しておきましょう。

✓ 安全スペースの確保
 室内になるべくものを置かない「安全スペース」(ものが落ちてこない・倒れてこない・移動しない空間)を作っておきましょう。

室内の備えのイメージ
 (資料:東京消防庁)



✓ 周囲の状況の確認
 普段通る道に危険な場所やものがないか確認しておきましょう。また、地盤の弱い場所や地震によって地盤の緩んだ場所では、降雨などにより土砂災害が発生することがあります。前もって周囲の状況を確認しておきましょう。

✓ 連絡手段の確認
 地震が発生したときの連絡手段や集合場所について、あらかじめ家庭で話し合っておきましょう。

✓ 家具の固定
 家具を固定しましょう。また、万が一倒れてきた場合でも、通路をふさがらないような配置を考えましょう。

✓ 訓練に参加しよう
 本当に地震が起こったときに、あわてずに身の安全を図ることができますか?積極的に訓練に参加しましょう。

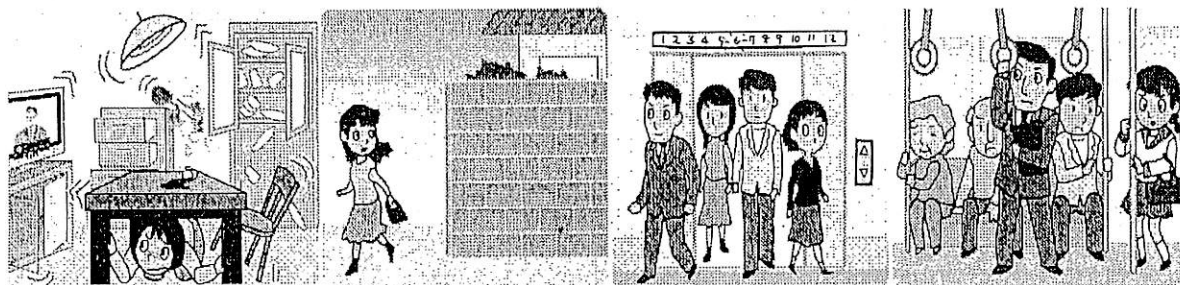
- ▶ 備蓄・非常持ち出し品の準備
- ▶ 安全スペースの確保
- ▶ 周囲の状況の確認
- ▶ 連絡手段の確認
- ▶ 家具の固定
- ▶ 訓練に参加しよう

日頃からの地震への備え
 地震による家具の転倒を防ぐには(総務省消防庁)
 日頃の備えで大切なこと(政府広報オンライン)

緊急地震速報を見聞きしたり、地震の揺れを感じたりしたら、あわてず、まず身の安全を確保しましょう。

安全を確保するための行動例

- ▶ 家庭では、安全スペースに避難
 - 頭部を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難
 - あわてて外へとびださない
 - 無理に火を消そうとしない
- ▶ 屋外(街)では、ブロック塀などの倒壊に注意
 - 看板や割れたガラスの落下に注意
- ▶ エレベーターでは、最寄の階に停止させ、すぐに降りる
- ▶ 鉄道・バスでは、つり革・手すりにしっかりつかまる



緊急地震速報を見聞きしたときの行動の具体例